慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	東アジアにおけるクロスボーダー買収の決定要因
Sub Title	Determinants and linkage of macro economic factors with equity interest and premium
Author	Ings, Robert(Ings, Robert) 井上, 光太郎(Inoue, Kotaro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2501号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2501

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学籍番号	氏名
80930094	イングス ロバート

主査	副査 1	副査 2
井上 光太郎	小幡 績	磯辺 剛彦

研究テーマ

東アジアにおけるクロスボーダー買収の決定要因

—Determinants and Linkage of Macro Economic Factors with Equity Interest and Premium —

内容の要旨

この研究は東アジア地域におけるクロスボーダー買収について、マクロ経済、出資比率、プレミアムを中心として実証研究を行った。この実証研究の主な結果は、国内買収 (in-in) とクロスボーダー買収 (out-in) のディールフローの決定要因がかなり違うことを明確に示した。具体的には、貨幣供給増加 (M2) の減少による国内クレジット減少と、急成長する経済の中で資産投資の需要増加が同時に発生することにより、資源コストの値上がりプレッシャーが発生し、クロスボーダー買収のディールフローが増加する。したがって、東アジアにおいて 50% 以上の買収が行われる場合、流動性とクレジット市場との関連により、ターゲットになる企業は負債比率の低い同業企業で、かつ企業価値が比較的に小さい企業である結果になった。一方、買収された上場企業のサンプルにおいて、プレミアムの高さはターゲット企業の買収時点において、株主資本利益率や EPS の増加率を大きくし、株主価値を増大することができるかどうかが決定要因となっている傾向がある。この結論は、プレミアムの要因が主に成長性である一方、マクロ経済変動の外圧に伴う財務シナジー、又コスト削減によるオペレーションシナジーのようなシナジー評価が、ターゲット対象と出資比率の決定要因となっていることを示唆するものである。